

関係者各位

中央労働災害防止協会

令和4年11月28日

当協会運営センター主催の研修会受講者における新型コロナウイルスPCR検査陽性反応の判明について

当協会が運営に当たっております東京安全衛生教育センター(東京都清瀬市)(※)が主催した研修会の受講者1名について、新型コロナウイルスPCR検査陽性反応が判明いたしましたので、お知らせいたします。

当該受講者は11月21日(月)～11月25日(金)の日程の研修会に通所により参加していましたが、最終日の25日(金)朝に発熱したため当日の受講を取り止め自宅待機としていたところ、翌26日(土)に新型コロナウイルスPCR検査により陽性反応が確認されました。

なお、同研修会の受講生等に体調について確認の連絡を行いましたが、28日(月)現在、体調不良者はありません。

研修の実施にあたっては、全ての受講者に対し検温を行い、マスクやフェイスシールドを着用するとともに、毎回研修後に研修室の消毒を行うなど、感染予防対策を徹底しております。

当協会では、研修をはじめとする各種事業に際しまして、引き続き徹底した感染予防対策を講じ、従来に増して感染防止に万全を尽くしてまいります。

※東京安全衛生教育センターは、労働安全衛生法第63条に基づき、労働災害や職業性疾病の防止のために、労働安全衛生に関する指導者や専門家を養成することを目的として1973(昭和48年)年に労働省(現:厚生労働省)により設立され、中央労働災害防止協会がその運営に当たっております。

中央労働災害防止協会(中災防)

	理事長	竹越 徹
【担当】	総務部長	溝口 進
	同次長	杉田 修康
	総務部総務課長	柴田 千鶴
(電話)03-3452-6073 (Eメール) somu@jisha.or.jp		